

橋(川を渡るには④)

森下編

君河原橋の辺りには君が原、御門、王御堂、御室、宮原など雅やかな地名があり、かつては利根沼田の中心として中央政権とも関わりをもっていたことがうかがえる。

中世になり前橋往還の宿駅として森下が栄えた記録があるが政治上の必要から片品川には架橋せず渡し船としたとある。

文献で君河原橋を探すと『明治以来久呂保村との境に架橋するも橋場が悪いので大水の度ごとに流失するので仮橋となっている』とあり、明治時代には架橋されていたことがわかる。

大正時代の記録では『君が原中ノ島で歌舞伎芝居が興行され、終了後、制限なしにつり橋を渡ったため橋が墜落し阿鼻叫喚の地獄画を現出。重傷者数人、軽傷者数十人を出した。』『大正時代末までは橋銭を一人2銭ずつ徴収した』とある。

写真1は昭和23年以降20年間使われていた橋である。それ以前の橋は昭和22年9月にカスリン台風により流失。村民の勤労奉仕により昭和23年7月に竣工した橋が23年9月にアイオン台風により再び流失。とわずかの

間に二度掛け替えられている。昭和43年11月に車両の交通が可能な永久橋となり平成4年8月、現在の橋(写真2)となる。昨今では道路が整備されさらにアクセスがよくなっている。



▲昭和23年以降20年間使用された橋(写真1)



▲現在の君河原橋(写真2)
(中央の石垣が以前の橋脚)

参考 村誌久呂保、利南村誌、昭和村勢要覧、利南の民俗

昭和村ボランティアガイドの会

森 肇子



9月是世界アルツハイマー月間です

認知症のことで困ったら…

昭和村では認知症になっても安心して地域で生活するための福祉サービスがあります。

認知症高齢者等事前登録制度

対象：65歳以上の人

内容：対象者の身体的特徴や緊急連絡先・顔写真などを事前に登録しておくことで、行方不明になった場合に警察、村、協力事業所が連携して早期発見を目指します。また、保護静脈認証システムを活用し、身元確認を行うこともできます。

費用：無料

認知症サポーター養成講座

対象：だれでも

内容：認知症の症状や予防の取り組み、対応方法について学ぶことができます。養成講座を受講することで、認知症サポーターとして認定されます。ご希望があれば、団体や事業所向けに養成講座を行うことができます。

費用：無料



問合せ 地域包括支援センター ☎30-2121

認知症徘徊探知機のレンタル

対象：65歳以上の認知症の人

内容：所持することにより、行方が分からなくなった場合に位置情報を確認できる通信端末をレンタルできます。

費用：所得に応じて変動



問合せ 健康福祉課福祉係 ☎25-3285

地域包括支援センターは
地域の高齢者のための総合窓口です



必要に応じて、ご自宅などへの訪問も行っていますので、心配事や悩み事がありましたらお気軽にご相談ください。



問合せ 地域包括支援センター ☎30-2121

